

学校運営協議会を設置 「コミュニティ・スクールによる学校づくり推進」

平成25年度から「コミュニティ・スクール（学校運営協議会）制度の導入推進について、文部科学省から委託を受けて長陽校区（南阿蘇西小学校と長陽中学校）において平成26年度までの2年間、実践・研究を進めてまいりました。

「コミュニティ・スクールとは、『地域とともにある学校づくり』を推進することであり、

地域、学校、保護者が一体となり、①関係者が当事者意識を持って「熟議」を重ね、②学校と地域の人々が「協働」して活動し、③学校が組織として力を発揮するための「マネジメント」を基本に、以上①②③を実現するため「仕掛け」の構築が必要であり、そのために「コミュニティ・スクール（学校運営協議会）」を推進することによって、子どもたちの豊かな学びを創造するための方策として地域との連携強化を図り教職員、保護

者、地域住民やその他関係者がともに成長していく地域の教育力の向上など、子どもを取り巻く環境を地域とともに変化させていくことなど、これからの時代背景には欠かさない地域と学校の連携強化を目標としていく手段として段階的に実践、研修、研究を進めてまいりました。

平成25年度当初申請時には白水、久木野、長陽のそれぞれの校区について文部科学省に申請しましたが、長陽校区が指定され、南阿蘇西小、長陽中において推進体制を図り、実践・研究してきたところで

す。これまで先進地研修や講演会、その他、指定小・中学校の年間計画に基づき、各学校へ地域の方々を招待したり、地域・学校が合同での作業などを通じて、今、活動している地域との関わりやつながりを確認し、この2年間「コミュニティ・スクール」を実践して

きました。

その結果、子どもを通して、学校、地域、保護者の関わりについて連携強化を図り、「地域とともにある学校づくり」としての推進する必要があるとの結論に達し、南阿蘇西小、長陽中を「コミュニティ・スクール」に指定し、学校運営協議会を設置することに至りました。

指定を受けた各小・中学校においては、これからこの協議会制度を活用し、地域活性化など子どもを見守り、そして活躍させる場の提供など多岐にわたり協議が進められていきます。

また、平成28年4月には、南阿蘇中学校が誕生することから、長陽中学校の「学校運営協議会」はそのまま引き継がれ、新校において推進されていく予定です。

なお、南阿蘇西小学校、長陽中学校それぞれの学校運営協議会委員については、2月26日に森田輝昭教育委員長から委嘱状交付がありました。



南阿蘇西小学校で実施された、ぬいぬいクラブによるミシンの授業風景(右)と、石鹸づくりの授業風景(左)

青年国際交流事業に参加しませんか

内閣府では、「東南アジア青年の船」など平成27年度の青年国際交流事業に参加する青年を募集しています。

■応募締め切り

3月20日(金) ※必着

詳細は、問い合わせてください。

〈問い合わせ〉

- ・内閣府青年国際交流担当 TEL03 (6257) 1434 (<http://www.cao.go.jp/koryu/>)
- ・県くらしの安全推進課 TEL096 (333) 2294